

環境にやさしい森林管理と 信頼される大井川材を供給するための第一歩

森林管理グループ F-net 大井川 の産声

FSC 森林認証取得の経緯

平成19年

- 5月2日 森林認証取得事業説明会
- 5月24日 第1回準備会
- 6月4日～6月6日 事前審査（1日目：書類審査、2日目：現地審査、3日目：書類審査・講評）
- 7月12日 第2回準備会
- 7月24日～7月26日 先進地岩手県岩泉町視察
- 9月3日 FSC 森林管理認証審査契約ソイル・アソシエーション / (株) アミタ
- 9月11日 第3回準備会
- 9月25日 森林管理グループ結成
- 9月25日～9月27日 本審査会（1日目：書類審査・公聴会、2日目：現地審査、3日目：グループ審査・講評）

平成20年

- 3月12日 森林認証取得



森林管理グループF-net大井川の皆さん

環境や社会と調和した森林づくりを推し進めるために、川根本町ではFSC森林認証の取得を目指して昨年5月に取り組みを開始。数多くの検討を重ねて、同年9月、審査受験に至りました。そして今年3月12日、全国では24番目、静岡県では初の認証取得が実現しました。森林管理グループ「F-net大井川」始動です。

F-net 大井川の会員

- 的場正明（志町河内）
- 柿下正寿（文沢）
- 森下一淑（文沢）
- 横畑明夫（志町河内）
- 山田久二（上長尾）
- 山下喜隆（東藤川）
- 小西宣幸（元藤川）
- 杉山嘉英（文沢）
- 金子 護（徳山）
- 川根本町役場（産業課）

（順不同・敬称略）

認証を取得した森林の内訳

		面積 (ha)	蓄積 (t)	構成比率 (%)	
認証林		1465.96	398,863	100	
内訳	人工林	針葉樹	1131.14	363,540	77.16
		広葉樹	18.29	1,302	1.25
	天然林	260.11	34,021	17.74	
	その他	56.42		3.85	

F-net 大井川の概要

■ 認証の概要

認証機関：ソイル・アソシエーション / (株) アミタ
 認証番号：SA-FM/COC-001841
 認証年月日：2008年3月12日
 認証有効期限：2013年3月11日
 認証森林面積：1465.96 ha

■ 認証の形態

町有林と私有林によるグループ取得
 管理責任者：川根本町長
 事務局：川根本町産業課
 取得面積：1465.96 ha

認証取得をきっかけとして

FSC森林認証の取得により、持続可能な森林管理・林業経営が規格化できることや、町内はもとより、大井川流域、県内外の木材関連業者などに対し

森林認証取得の経緯

川根本町では、町林業研究会の会員に説明会を実施し、FSC森林認証に賛同してくださった9人と川根本町、森林活動団体で森林管理グループ「F-net大井川」を結成しました。昨年5月から準備を進め、森林管理方針・森林管理計画などを検討し、グループマニュアルを作成。昨年9月に審査を受験しました。

認証取得後の取り組み

町民の皆さんに森林認証という制度を理解していただくことが第一です。そして認証林面積の拡大や持続可能な森林管理形態の定着、認証材の安定供給体制の確立を図ります。併せて、町内や流域の木材関連業者が認証材を利用・流通できるようにCOC認証の取得を働きかけます。この制度を通して、川根本町の林業振興、林業所得の向上につなげていくことを目指しています。

静岡県内で初の認証取得

平成20年3月12日

川根本町では、環境にやさしい森林経営の第一歩を踏み出すため、FSC森林認証を取得しました。

平成20年3月12日、審査機関であるソイル・アソシエーションから認証番号が交付され、F-net大井川が全国で24番目、県内では初の認証林1465.96ヘクタールが誕生しました。

今後、FSC森林認証を維持し、今後の林業振興や、適切な森林管理を行っていきたいと考えています。

て、森林認証材を幅広くアピールすることができるなど、今後、様々な効果が期待できます。しかしながら、FSCには、加工・流通の認証であるCOC認証があり、製材所、加工所や工務店がFSCのラベルをつけて製品を製造したり、FSC認証材の家を建てたりするには、COC認証を取得する必要があります。（11ページ下欄参照）